

事業所名

マードレ千島

支援プログラム

作成日

令和7 年

3 月

28 日

法人（事業所）理念		子どもたちの好きを形に 子どもたちに寄り添う支援をしていきます								
支援方針		家庭的な支援を心がけ、お子様のよき居場所であり、また保護者様が安心して預けることが出来る事業所を目指しています。								
営業時間		10 時	00 分	から	18 時	00 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	来所時は手洗い・検温を習慣づけて体調管理を行っている。おやつ時間のあとに、歯磨き練習を取り入れ、自分で歯を磨く練習を行っている。不定期ではあるが、クッキング(おやつもしくは昼食作り)を行っている。								
	運動・感覚	毎日、外遊びを通じて、遊具遊びやボール運動、鬼ごっこなどの集団遊びを行っている。室内においては毎日、ダンスや手話・合唱の練習を行っている。トンネル型の遊具やバランス遊具を活用して、室内でも身体を動かす活動を取り入れている。								
	認知・行動	お外遊びへ行く順番などを毎日定め、スケジュールに沿って活動することを習慣づけている。お外・室内での「お約束」を学び、安全に対する正しい意識を身につける支援を行っている。（「お外でのお約束」「お部屋・階段でのお約束」など）								
	言語 コミュニケーション	言語の習得について、「おはようございます」「さようなら」「いただきます」「ごちそうさまでした」「ありがとう」「ごめんなさい」といった挨拶の言葉から覚えてもらうよう支援を行っている。集団レクリエーションの中で、絵本・紙芝居の読み聞かせを行い、言葉を聞く力を身につけてもらえるよう支援を行っている。								
	人間関係 社会性	おやつ終了後に余暇時間を設け、自由に遊ぶ時間から集団遊びにつなげている。また、毎日帰宅前に「終わりの会」を実施し、児童が「1日で楽しかったことや良かった事」を発表してもらうことで、「他者に自分の想いを言葉で伝える」「他者の言葉を聞き、想いを尊重する」ことが出来るようになるよう支援を行っている。								
家族支援		定期的にご家族様と面談を行い、現状を共有し合ってより良い支援を行えるように努めている。				移行支援		地域での様々な活動に参加することで地域とのつながりを得られるよう努めている。		
地域支援・地域連携		定期的に外部機関と担当者会議を行い、機関同士の結びつきに努めている。				職員の質の向上		定期的に社内研修を行い、障がい特性に関する理解や虐待防止などの権利擁護の理解を進めている。また、必要に応じて外部研修の受講を薦めている。		
主な行事等		毎月、季節の行事にちなんだ壁面工作を行っている。（例:書初め・クリスマスのリースづくり等） お誕生日会。 遠足(例:大型の公園・動物園・博物館等)。 地域が主催するイベントに、外出活動の一環として参加することもある。（例:ハロウィン・餅つき大会等）定期的に近隣の老人ホームへ訪問し、歌やダンスなどの発表会を行っている。避難訓練を定期的に行っている。								